

# 新年あけまして おめでとうございます

守口市議会議長 江端 将哲

## 災害の無い平和な一年を願って

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、平素は市議会活動に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、平成から令和へと元号が変わり、新しい時代の幕開けを感じました。

また、アジア初のラグビーワールドカップが日本で開催され、日本代表チームがベスト8に進出し、「ONE TEAM」という言葉が今年の流行語大賞となるなど、その活躍は私たちに興奮と感動、そして元気を与えてくれました。

一方で、関東や東北地方を中心とした台風、豪雨などの自然災害が発生し、住民生活に大きな被害をもたらしました。近年頻発する災害の恐ろしさをますます実感するとともに、日ごろの備えが大切であることを再認識させられました。

さて、本市に目を向けますと、市庁舎3階に妊娠期から子育て期までの総合相談窓口として、子育て世代包括支援センター「あえる」がオープンするなど子育て支援の充実が図られた他、地震や風水害などの防災情報をまとめた「守口市防災ハザードマップ」の改訂版が作成されましたことは、市民の皆様には、いざという時にどう行動するかについて考え、備えをしていただく良い契機となったのではないのでしょうか。そして、今年開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会に参加されるガンビア共和国のホストタウンとして本市が登録されましたことは、今後、文化やスポーツなどさまざまな面で交流を深めていくことが期待されます。

市議会といたしましても、議決機関としての役割と責任の重さを自覚し、本市の魅力高め、にぎわいや活力を創造し、「住み続けたいまち」の実現に向け、子どもから高齢者の人まで誰もが安心して豊かに暮らせるように、鋭意取り組んでまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年は災害の無い平和な一年となりますよう心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



守口市長 西端 勝樹

## いつまでも住み続けたいまちの実現へ

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様にはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より市政各般におきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年の5月に新元号「令和」へと改元され、新たな時代の幕が開けた1年となりました。

また、旭化成株式会社名誉フェローである吉野彰氏のノーベル化学賞受賞や、ラグビーワールドカップにおいて日本代表チームがベスト8に進出するなど明るいニュースがあった一方、相次ぐ台風の襲来や豪雨により関東・東北地方に甚大な被害の発生や首里城の焼失など、日本中に衝撃が走りました。

本市におきましては、一昨年の大枝公園西側エリアに続き、東側エリアをリニューアルし、60年以上にわたって市民の皆様にご利用いただいている大枝公園を全面リニューアルすることができました。今後も守口市のシンボルパークとして、ますますにぎわいを創出できるよう取り組んでまいります。

さて、昨今の日本経済に目を移しますと、企業収益、雇用情勢ともに好調と言われ、緩やかながらも景気拡大が続いていると報道されておりますが、少子高齢化による人材の不足や、消費増税に伴う景気への影響など、先行きは不透明であると言わざるを得ません。

本市におきましても、「昭和」、「平成」という時代とともに経済成長を遂げてまいりましたが、「令和」という新時代の幕が開けた今、大きなターニングポイントを迎えております。

守口市の未来を創造していく上で、より多くの人に「守口市に住みたい」、「守口市に住み続けたい」と感じていただけるような、魅力ある定住のまちを築き上げていく所存でございますので、市民の皆様には、より一層市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年が皆様にとりまして、幸多く実りのある一年となりますよう、祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

